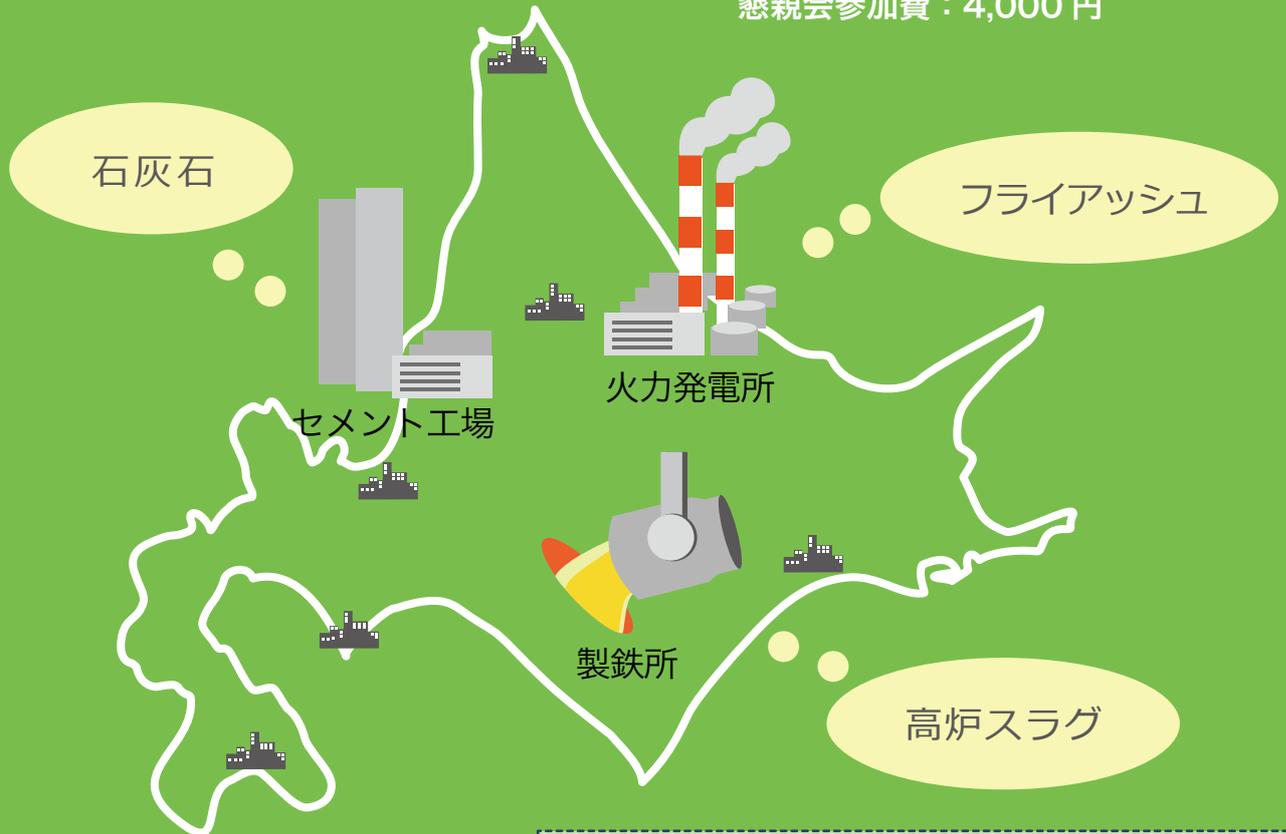


資源環境と土木建築の融合による 持続可能社会構築の現状と将来

2019年12月13日(金) 13:30~17:45 (開場 13:00)

北海道大学 学術交流会館 講堂
(〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目)

参加費：無料 (但し、資料代 1,000 円)
※30歳以下の資源・素材学会若手会員は資料代無料
懇親会参加費：4,000 円



持続可能な社会を構築する上で産業副産物や廃棄物が国境を超えて動く時代、排出の取り組みはますます重要になっています。これらの問題を解決するためには資源・素材分野のみならず土木建築などの他分野との連携が広く行われる必要があります。そこで北海道におけるこれらの副産物の有効利用、リサイクル、廃棄処分にどう取り組むべきか。本フォーラムでは、産官学の立場からそれぞれの意見を交え、その可能性と課題を考えます。

[申込み・問合せ先]

資源・素材学会北海道支部事務局 E-mail sh@eng.hokudai.ac.jp
(E-mailにて「フォーラム参加申込」と明記し、参加者全員の氏名、勤務先、メールアドレス、懇親会参加の有無をお知らせ下さい)

主催：(一般社団法人) 資源・素材学会北海道支部

後援：日本コンクリート工学会北海道支部、北海道大学大学院工学研究院環境循環システム部門

司会：胡桃澤 清文(北海道大学)

13:30~13:35 開会挨拶 川崎 了(北海道大学, 資源・素材学会北海道支部長)

13:35~14:10 「建設産業の未来の指針としてサステナビリティを」
堺 孝司(日本サステナビリティ研究所)

14:10~14:45 「多様な影響領域を考慮したセメントの環境影響評価」
桐野 裕介(太平洋セメント株式会社)

14:45~15:20 「石炭灰有効利用の現状と循環型社会構築に向けた新たな取り組み」
関谷 美智(北海道電力株式会社)

15:20~15:35 — 休憩 —

15:35~16:10 「高炉スラグを有効活用した建設資材と利用事例」
若杉 伸一(日鉄セメント株式会社)

16:10~16:45 「石炭灰及び高炉スラグを用いたジオポリマーコンクリート」
上原 元樹(公益財団法人 鉄道総合技術研究所)

16:45~17:20 「北海道における建設混合廃棄物の実態調査について」
丹羽 忍(地方独立行政法人 北海道立総合研究機構)

17:20~17:40 パネルディスカッション
モデレータ：胡桃澤 清文(北海道大学), パネラー：講演者全員

17:40~17:45 閉会挨拶 廣吉 直樹(北海道大学, 資源・素材学会北海道副支部長)

18:00~20:00 ◆懇親会(北海道大学ファカルティハウス「エンレイソウ」内
レストラン「エルム」)